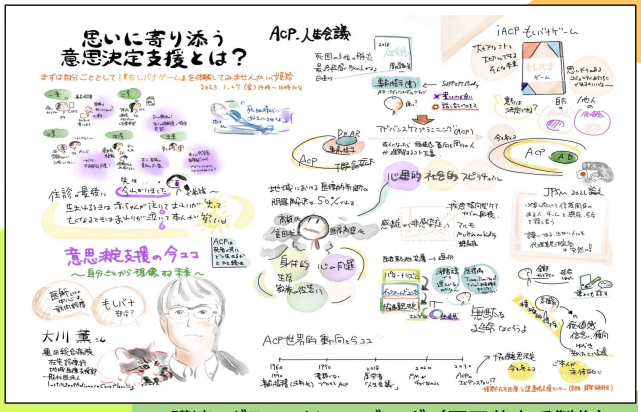
医療・介護関係者研修会　報告

思いに寄り添う意思決定支援とは？？

2023 年 1 月 27 日（金）14 時～　オンライン＋会場で開催しました。多職種 22 名(オンライン 18 名、会場 4 名)の方々の参加があり、講演・もしバナゲーム体験後、和やかな雰囲気の中、グループで語り合いました。



講演のグラフィックレコーディング（岡田英之氏製作）

亀田総合病院 在宅診療科 部長、地域医療支援部 部長 兼務/一般社団法人 iACP 理事 大川 薫 先生に「意思決定支援の今ココ～自分ごとから想像する未来～」をテーマにご講演いただきました。

現在までの ACP の流れについて、そして、意思決定支援については、事例や支援のポイントもふまえながら分かりやすくお話していただきました。実際に ACP の関わりの中で葛藤されたり感動されたりした貴重なご経験、また「日本の歴史的文化的背景を考慮した ACP」に向けて取り組まれている最新情報についても共有していただきました。

まずは自身の価値観・信念の傾向や“ゆらぎ”を知った上で支援をしましょう。
ACP の研究は未だ過程の段階。知ったつもりにならず、本人が主体的に「決める」ことは尊重しながら、本人・家族にとって安全な場で対話を繰り返すことで「決まる」ことを目指しましょう。

もしバナゲーム体験

“もしもの時の意思決定”について、自分事として疑似体験できる「もしバナゲーム」を、参加者全員で体験しました。今回は、オンラインでできる個人ワーク形式で実施しました。35 枚のカードから、「もし今の自分に残された時間が限られていたとしたら」という設定で、自分にとって大切だと思うカードを選んでいき、その後、グループに別れて、手元に残った最も大切な 3 枚について、選んだ理由や感想などを語り合いました

研修会後アンケート（一部抜粋）

・昔からの意思決定支援の変遷などもしっかり理解できて、これからのケアマネジメントに活かしていくことができそうです

・看取りの計画書を作成する時に、本人の意向を活字にする事に抵抗がありましたが、しっかりと記載することが大事だと実感しました

・「もしバナゲーム」のカードの内容は、利用者さんを含め、誰もが考えていることだと改めて思いました

・年齢や立場、職歴によっても、もしもの時に対する考え方が異なるし、利用者様それぞれの考え方に寄り添ったケアマネジメントができるように、自分の器を深めていきたいと思います

・患者さんの大切にしていることを聞き、実現できるよう支援したい

センターでは「もしバナゲーム」のカードの貸し出し、市民を対象とした公民館などでの「もしバナゲーム」を取り入れた出前講座、医療介護専門職向けのもしバナゲームの進行、などを行っています。お気軽にお問い合わせください